

寺報

No.656

令和4年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

国^{くに}亡^{ほろ}び人^{ひと}滅^{めつ}せば、仏^{ほとけ}を誰^{たれ}か崇^{あが}む
 可^べき。法^{ほう}をば誰^{しん}か信^{しん}ず可^やけん哉^や。
 先^まづ国^{こっか}家を祈^{いの}つて須^{すべ}らく仏^{ぶつ}法^{ぼう}を立^た
 つべし。

『立^{りつ}正^{しょう}安^{あん}国^{こく}論^{ろん}』



(解説)

ロシアがウクライナに侵攻し、やがては国や国民までもが滅んでいきそうです。

この状態は、鎌倉時代の我が国にもありました。いわゆる二度に渡る『蒙古襲来』です。

この時の国家危機は、当時の防衛とまた強烈な台風により何とか防ぐ事が出来ました。

日蓮大聖人は「国というものは正しい仏法、即ち『法華経』によつて、隆昌していくものであり、そして、その法華経は人によつて貴まれて弘まっていくなのである。

つまり国が亡び、人も滅びてしまえば、誰も法華経を信じてはいけないのである。

だから、我々は先づ国家の安穩を第一に祈り、後に法華経の広宣流布を計る可きである。」と、国家の安全性を重要し強調したのです。

我々はこの大聖人の教えを元に、常に国家の平和と安穩を祈る事を忘れてはいけません。

そして、その上で法華経・お題目を弘め、仏^{ぶつ}国^{こく}土^どの建設を可能にしていかなければならないのです。

会誕降御祖宗

四月十三日(水)

午後一時より

場所…大本堂



善日曆

*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。

*皆さんでお祝い致しますよう。

*お供物も受け付けます。

日蓮大聖人は、鎌倉時代の貞応元年(一二二二)

二月十六日、黒潮の洗う安房の国(千葉県鴨川市)の小湊という小さな漁村にお生まれになりました。

ご誕生と同時に、お庭には清水がわき出てきたので、その水を産湯に当て、また浜では時ならぬ蓮華の花が咲いたといわれます。

この不思議な様子を見た村人達は「この子はきつと菩薩様になる方ではないか」とうわさをしたそうです。

この地で長年漁師の頭として過ごしてきた父は、善き日に生まれたこの子を『善日曆』と名付けました。

『善日曆』のご誕生は、くしくもお釈迦様がお亡くなりになられました【二月十五日】の翌日、ここにお釈迦様に代わり我々に法華経をお説きになる「上行菩薩」の再誕といわれる由縁があるのです。

この時の小湊の地は、春の訪れを告げるように、草木は美しく花開き、太陽は大きく光り輝き、庭先のわき出た清水も新しく生命が誕生したようにキラキラと照り映え、まるで偉人のご誕生をお祝いするような光景であったと後世に語り伝えられています。

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十三日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当…住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂(イス席です)

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各々の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『霊神符』を持ちましょう!

最近思ひもよらぬ事件・災難・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。皆様も素直に毎月一日のお守りを持って、身体を守ってもらいましょう。なお宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開経偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読経	「方便品第二」	【9ページ】
	「如来寿量品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「観世音菩薩普門品第二十五」	【23ページ】
	「陀羅尼品第二十六」	【30ページ】
	「普賢菩薩勸発品第二十八」	【35ページ】
懺悔文	「夫れ懺悔は治病の」	【47ページ】
御妙判	「祈禱鈔」	【67ページ】
御題目	「南無妙法蓮華經」	【72ページ】
宝塔品偈	「此經難持」	【72ページ】
回向文	(導師が唱えます)	
四誓願	「誓つて南無妙法蓮」	【76ページ】
三整唱	「なむめうほうれん」	【77ページ】
弾指合掌		以上

お題目と共に生きた人

楽 吉左衛門

日本全国で茶道をたしなむ人に愛好される茶碗を「一楽（京都）、二萩（山口）、三唐津（佐賀）」とい、その中で誰にでもよく知られているのが京都の『楽焼』です。

京都の人達は、この楽焼こそが茶道の最高の茶碗であるといっています。

楽焼のいわれは、豊臣秀吉が京都で建立した邸宅『聚楽第』のお庭で取れた土を使い、製陶させた御庭焼がやがて聚楽焼と呼ばれるようになり、それが転じて楽焼になったといわれています。

この楽焼の伝統を今に伝えているのが『楽家』でありまして、現在も第十六代目によって受け継がれています。

楽家の名は、秀吉からその功績を称えられて【天下】の称号と、黄金の【楽】の印を拝領し、作られた茶碗にその印を押した事に始まったといわれています。しかし江戸時代までは、本姓の「田中」を名乗り、そ

の後、戸籍法が出来てから「楽」という姓にしたともいわれています。

楽焼の創設者は、当時瓦職人であった長次郎という人で、『千利休』の指導を得て焼き物を作り、特に利休好みの「わびの茶の湯」にふさわしい作品を数多く残しました。

そして、二代目の『常慶』から『吉左衛門』という名を代々名乗るようになったそうです。その楽家の菩提寺は、京都・日蓮宗本山『妙覚寺』であります。

『妙覚寺』は京の都に始めてお題目を弘められた、大本山『妙顕寺』の開山『日像上人』のお弟子になりま、す日実上人が開創したお寺で、ここには日蓮大聖人の直筆の「大曼荼羅御本尊」や「孟蘭盆御書」という御遺文と共に、楽焼のお茶碗も多数奉納されています。

当山蓮華寺は、この『妙顕寺』より『蓮華寺』という寺号を賜り、かつてその末寺になっていました。

さて、楽家で歴史上最も名人といわれたのは三代目『道入』ですが、その道入が父・常慶と共に交流を深めたのが当時の芸術家『本阿弥光悦』でした。

その道入が光悦に楽焼の秘法を教えた事から、光悦の焼き物への関心が深まり、また茶道向上の影響も非常に大きかったといわれています。

そして、この『本阿弥家』が熱心な日蓮宗の信者であった為に、楽家もその影響を受け、代々法華経・お題目を信仰してきたのでした。

ですから、今でも楽家の入口には、昔ながらの

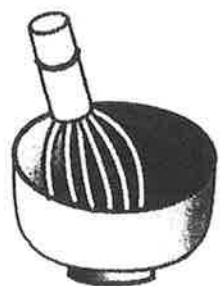
【楽 おちゃわん屋】

と書かれたノレンがかかっている、このノレンの裏にはしつかり『南無妙法蓮華経』のお題目が書かれてあるそうです。

ここに、代々の日蓮宗信仰の強さと、伝統の重みを見る事が出来ます。

そして、このご先祖様たちの各時代の信仰の継続によりまして、今日の茶道の世界で、お茶碗の王としての地位を築き上げたのでした。

まさに、お題目のノレンと共に今後歩み続ける、楽焼といえるでしょう。



『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきています。それが構いません。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、三年以上ご使用の方に、上位で空いています『位牌壇』を数がある限り無料で譲ります。

◎詳しくは事務所まで！

『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞご一緒にお読み下さい。

初めは難しいでしょうが、繰り返し事で段々慣れてくると思いますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申し込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけてまして、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

④朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元

『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。必ずご予約下さい。(☎七七六一五八四〇)まで

【一件・・・三千元となります】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついでたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トローラー)を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千百円)

◎普通幅広塔婆 (二千六百円)

◎五十回忌用塔婆 (三千百円)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千六百円)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・四千五百円 ◎小・四千三百円 【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎極小四千五百円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

*榊入大黒天 (分割可能)

◎一升榊 (手彫・五万円) (機械彫・三万円)

◎五合榊 (手彫・四万円) (注)【魂入・御幣代も含む】

*お経本

◎聖典 (千二百円)

・ついでたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千八百円)
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百元) ・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百元) ・CD (千円)

*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千円)

*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札 (三千元)

*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

*朝光水 (身延山の目薬・六百元)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

四月の行事

一 日(金) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(水) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
- ・皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(水) 宗祖御降誕会 午後一時より

⑨ 日蓮大聖人のお誕生日の日です。

二十三日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

⑩ どなたでもご自由に参加出来ます。

☆ 奉仕のお知らせ

五日(火) 倉庫整理と境内地の大清掃 教宣部男女・・・午前十時より

* 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

- ◎ 奉仕部長・山田兼補
- ◎ 伝道部長・小野正春
- ◎ 教宣部長・杉淵昌三

☆ 行事のご案内

* 盛運祈願会

- ・毎月のお守り(靈神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からのお勤めに参拝しましょう。

* 十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

* 朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より(一時間十分)
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

⑨ 剣守札 (星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていませんので、どうぞお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円